

特集

模擬患者を取り入れた教育を見直す Part 2

模擬患者をどのように活かすか

大学において模擬患者をいかに活用するか——OSCEを中心に 渡邊由加利, 中村恵子
専門学校における模擬患者導入の実際——派遣を受けて 村田日出子他
専門学校における模擬患者導入の実際——ボランティアを募って 大東佐枝美

第2特集 学生論文

【新連載】

EPA 看護師候補者との3年間・1 奥島美夏

【連載】

ナイチンゲール伝・2 茨木 保

学生目 教員のまなざし・8 社会保険横浜看護専門学校

「教え方の本」を読む!・8 朝倉真弓

やっぱり、私は看護師だった・8 那須あい

誌上FD 自己決定できる「女性」を育てる 気づきと目覚めのジェンダー教育・20(最終回) 沼崎一郎

Mail From USA ——『JNE』を読み、世界の看護教育の流れを知る・28 喜吉紘子

編集後記

◎編集室ツイッター <http://twitter.com/KANGOKYOIKU>

●模擬患者を活用した教育に興味をもったのは、ある学会発表がきっかけでした。「模擬患者を演習に利用した結果、これこれこのような成果が上がった」という内容だったのですが、最後まで聞いてみると、その模擬患者は「同級生」! いや、それはただのロールプレイで模擬患者とちゃうし!? 驚く私を尻目に会場からはそれにツッコむ質問はなく、発表はつつがなく終わりました。それ以後、「模擬患者を活用した」と題する発表をいろいろと見た結果、十分な考慮・準備なしに『模擬患者』を導入しているようなケースが少なくないことに気づいたのです。●本特集で示されているように、優秀な模擬患者は非常に多くのものを学び、それを学生にフィードバックしてくれます。次号では、このような模擬患者を、実際にどのように活用するかを教員側からご紹介します。お楽しみに。 …大野

●「五月病になってない? 大丈夫?」と訊かれることが少なくなったなと思ったら、もう6月がすぐそこまで来ていました。Time flies like an arrow. (矢が好きなら「時のハエ」の話ではない)とはよく言ったものです。その一方で、この7月号が皆様のお手元に届くのは、書いている今からはまだまだ先のことであり、「あれ、まだ5月だったっけ」という感覚もあります。月刊誌ほけというやつでしょうか。早く慣れないといけませんね。●さて、本号(と次号)の特集テーマは模擬患者、医療従事者の育成のため患者さんになりきる人々たちです。私なんて、社会人の役だけで手一杯(正直に白状すると少しこぼれ落ちている)だというのに、これに加えて別人(しかも病気の症状や生活背景まで)を演じるとは、ただただ頭が下がる思いです。 …加藤

看護教育 第52巻 第7号 2011年7月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2011, Printed in Japan

一部定価 1,470 円(本体 1,400 円+税 5%) 2011 年・年ごめ予約購読料(増大号を含む 12 冊)

冊子のみ 16,250 円, 冊子+電子版 21,300 円, 電子版/個人 16,250 円, 電子版/共有 18,690 円(いずれも税込, 送料弊社負担)

発行: 株式会社医学書院 代表者: 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 販売部 TEL: 03-3817-5657

『看護教育』編集室 TEL: 03-3817-5776 メールアドレス: kankyoku@igaku-shoin.co.jp 担当: 加藤・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY (社)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に, (社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/11/¥250/論文/JCOPY が本誌の頁表記に並んで記されているのは, 1 論文 1 回複写につき 250 円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY 宛にご連絡いただく際には, 筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

『看護教育』バックナンバーのご案内

【月刊】1部定価1,470円
(本体1,400円+税5%)

年間購読 好評受付中! 電子版もお選びいただけます。

2011年6月号

Vol.52 No.6

特集



チーム医療を培うIPE

医療は、それぞれの専門職が参加する「チーム」で取り組むもの。その中心は、患者。21世紀にスタンダードとなった大前提です。看護界に専門職連携教育 (Interprofessional Education; IPE) の概念が紹介されてから 15 年が経ちましたが、ただその具体的な連携法を学生が学ぶ機会はまだ少ないのが現状です。それでも、「鉄は熱いうちに叩け」——医療者の基盤づくりは、基礎教育から始めるほかありません。「IPE がチーム医療を培う」のではなく、臨床現場の要請が、学校機関に及んでいるのが現在の流れです。

看護職が他職種と協働する基盤になる資質は、自らを知ること、それを他者に伝えられるコミュニケーション能力がカギです。薄井坦子さんが 50 年前に模索された「看護って何だろう」を問う道のりが、現代の皆さんにも最初の道標になるのではないのでしょうか。

contents

- 【インタビュー】多職種連携を支える「看護科学」のための教育を……薄井坦子 [聞き手] 本誌編集室
【コラム】質問を寄せて、答えに接して……渡辺暢子
- 医療人共通教育としてのヒューマン・コミュニケーション教育の実践
看護学生・医学生合同「医学概論」を運営して……高塚人志
【コラム】看護教育者の声 人とかわかり、成長する……橘 緑里
看護教育者の声 現場で看護を考える立場での学び・気づき……橋本みどり
- 先駆者からのメッセージ IPE にチャレンジするみなさんへ……大塚真理子
- 多職種理解のカギになる協働アプローチ法 ケースで紹介する信念対立解明アプローチ……京極 真
- 医療各職種それぞれの卒前教育でめざすもの 共通する課題と改革のために……福原麻希
- 千葉大学「亥鼻IPE」の現在 看護学部・医学部・薬学部の連携協働プロジェクトの進化……酒井郁子

2011年5月号

Vol.52 No.5

特集



循環型教育の確立をめざして

「臨床と教育の連携」は、基礎教育に携る者にとっても臨床側にとっても長年の課題です。基本的には、臨地実習を中心に考えられてきたこの問題ですが、看護師により高度な活躍が期待されつつある昨今においては、キャリアパスに関連づけて考えることもできます。

循環型教育システムは、基礎教育の段階から卒業教育までを視野に入れ、長期スパンで「教育」を考えるもの。今後、多くの教育機関と臨床が協力して取り組んでいく必要がある新たな試みです。今回は、循環型教育システムに向けたさまざまな形態での取り組みを、教育と臨床の組み合わせで 3 箇所の実例を紹介し、今後の指針の一つとしていただこうと考えました。

もちろん「循環型」をシステム化するには、それ以前に「普通に」教育と臨床の連携が取れている必要があります。これを機会に、連携の将来について話し合ってみてはどうでしょうか?

contents

- 循環型教育への取り組み 基礎教育における役割……眞鍋えみ子・光木幸子・岡山寧子
- 臨床と教育が協働し開発する『一人前看護師育成プログラム』……倉ヶ市給美佳・橋元春美
- 循環型教育としてのレクネスから OSCE への発展……迫田綾子・村田由香・川西美佐
- 育み育まれる継続教育と大学教育との循環……谷口理恵
- 看護専門学校で取り組む循環型教育の萌芽
ユニフィケーション、そして人事交流を人材育成につなげる……森内みね子
- 臨床側からユニフィケーションを捉える……茂木光代

【2011年4月号 (Vol.52 No.4)】

特集 男が看護を学ぶこと

【2011年3月号 (Vol.52 No.3)】

特集 中小病院や施設に実習を求めて

【バックナンバーのご注文について】

■ vol.50 No.8 以降のご注文は、お近くの書店、または医学書院販売部にお申し込みください。
医学書院 販売部 TEL:03-3817-5659

■ vol.50 No.7 以前のものについてのご注文は、下記宛にお願いいたします。

(株)東亜ブック TEL(03) 3985-4701 FAX (03) 3985-4703
E-mail: st@toabook.com URL: <http://www.toabook.com>

●バックナンバーの詳細目次は、小社ウェブサイト <http://www.igaku-shoin.co.jp> でご覧ください。



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

[販売部] TEL: 03-3817-5657 FAX: 03-3815-7804

E-mail: sd@igaku-shoin.co.jp <http://www.igaku-shoin.co.jp> 振替: 00170-9-96693

携帯サイトはこちら



消費税率変更の場合、上記定価は税率の差額分変更になります。